

お代わり次々 身も心も温めて

南三陸町で

葉膳スープ

かほく市木津で漬物を製造する自営業朝日勝治さん(72)ら3人は25日、東日本大震災で被災した

かほくの朝日さんら3人



サムゲタンを振る舞う朝日さん(左)

宮城県南三陸町歌津中

被災者に振る舞い好評

現在も食料品が満足に届かない状態が続いており、3人は被災者約300人に温かいスープを提供し、元気づけた。

朝日さんは、友人の会社員梶谷弘之さん(43)と市横山と介護士木村敏史さん(33)と市外日角と一緒に関地を訪れた。36羽分の鶏肉と米12kgなどを煮込んで300人分のサムゲタンを仕上げ、24日に水160リヤ調理鍋、ガスこんろなどを携えて出発した。現地では泊りした後、25日の昼食時間に合わせ、避難所の同町歌津中体育館で振る舞った。

朝日さんによると、避難所で提供される食事はおにぎりと豚汁が多く、

被災者は珍しい味に大変喜び、何杯もお代わりをする人が相次いだ。歌津中周辺の建物は今も大半が倒壊したまま、JR気仙沼線の歌津駅は線路がはがれ、トンネルにがれきが流れ込んだ状態のままだったとい

う。新米の収穫を待って秋にも訪れる予定の朝日さんは「満足そうなお顔を浮かべる人ばかりだった。今後も何か被災地に役に立つことを考え、実行したい」と話した。

ボランティア

石巻市へ出発

穴水町職員互助会

穴水町職員互助会の5人は26日、東日本大震災の被災地でボランティア活動をするため、宮城県石巻市に出発した。29日まで、同会が災害時の助け合い協定」を結ぶ神戸市職員労働組合の30人と合同で活動する。

初動態勢を確認

羽咋市が職員研修

出発に先立ち、竹森弘会長らが町役場で石川宣雄町長から激励を受けた。水害の際に同組合から支援を受けた山口市職員労働組合の6人も参加する。

羽咋市の職員防災研修会は26日、同市役所で開かれ、約190人が大地震などの災害発生時の初動態勢を確認した。職員に原子力防災と津波に関する項目を追加したハンドブックが配られた。全職員を対象とした防災研修会は初めてで、職員が津波に関するビデオを視聴した。

副町長は東松島市

穴水町の山岸春雄副町

6人を功

穴水署

穴水署少

連絡協議会

日、同署で

年補導員の

表彰を受け

夫署長が表

少年補導員

雄会長が記

した。受賞

さん。

▽穴水地区

中健吾▽門前

高性能

来月か

能登繊維

能登繊維

通常総会

登町良川の

タイトル・

た。県内の

輪島の津

大臣感

行政相談

大臣感謝状

真川は26日

所で行われ

退任した